

うわじま 牛鬼 うしおに

市立宇和島病院の理念

- 一、信頼される病院
- 一、思いやりのある病院
- 一、やすらぎのある病院
- 一、進化しつづける病院
- 一、地域になくてはならない病院をつくります。

市立宇和島病院の基本方針

- 1、いつでも、どんな病気にも、高度医療を提供する病院をめざします。
- 2、患者さまの権利を尊重し、愛情と対話をもってあたたかい医療を提供する病院をめざします。
- 3、快適な医療環境をととのえ、明るくうるおいのある病院をめざします。
- 4、高い技術を持ち、人間性豊かな医療人の育成につとめる病院をめざします。
- 5、医療・保健・福祉との連携を深め、地域で完結する医療に貢献する病院をめざします。

市立宇和島病院ホームページ
<http://www.uwajima-mh.jp>

患者さまの権利

1. 良質で適切な医療を平等に受けることができます。
2. 自分の状態や医療行為について十分理解できるまで説明を受けることができます。
3. 医療者から十分理解できるまで説明を受けた上で、自由意志に基づき医療行為を選択あるいは断ることができます。
4. 主治医より受けた診断、治療方針について他の専門家に意見を求めたい場合は、セカンドオピニオンを利用することができます。
5. 自分の医療に関する記録などの情報について、開示を求めることができます。
6. 個人情報及びプライバシーは保護され、いかなる状況においても人間としての尊厳が守られます。
7. 患者さまの診療・治療について当院の教育・研究にご協力をお願いする場合がありますが、これを断ることができます。
8. 病院に対し種々の提言をすることができます。



病院事業管理者

市川 幹郎



あけましておめでとうございます。
 年頭に当たり皆様のご多幸とご繁栄をお祈り致します。

今年は今後の医療体制が大きく変わるターニングポイントの年になると思います。

これからの医療は少子高齢化が急速に進む時代に地域の医療を守るため、各医療機関は機能分化をすすめ、地域で連携してその地域の医療を守ることになります。宇和島市病院局は地域で唯一の救命救急センターを併設した公立総合病院の市立宇和島病院が主に急性期医療を担当し、吉田・津島病院をはじめ他の医療機関と連携して地域の方々が安心して暮らせるように引き続き取り組んで参ります。

今労働者の働き方が社会問題となり、政府も重要政策に掲げています。医療の現場も例外ではありませんが、病院局職員はその責任を自覚して努力しています。今後もこれまでのように、宇和島圏域の医療を続けるために地域の方々のご理解・ご協力をお願い申し上げます。



市立宇和島病院院長

梶原 伸介



市民の皆さん明けましておめでとうございます。

2017年も色々な事がありましたが、当院においては、大過なく過ごせたのではないかと思います。市民の皆様にとっての大きな変化と言えば、救急医療体制の変更だと思います。当院は24時間、365日、救急患者さんの受入れを断らないことをモットーに診療に励んで来ましたが、医療者の負担が重いという意見が強くなり、宇和島保健所を中心に、医師会、他の病院等との検討を重ね、火曜日と木曜日は他の病院で2次救急までを担当していただくよう、新しい輪番制をとることとなりました。ただ、当院は南予救命救急センターを併設していますので、救命救急センターとしての義務があります。緊急手術が必要な患者さんや他の病院で対応出来ない疾患等は今まで通り当院で受け入れを致しますので、ご安心ください。

また、当院は高度医療を提供できるよう毎年、医療機器の更新を行っています。2017年11月末には、256列のハイスペックCTを導入しました。このハイスペックCTは、今までのCTよりも早くきれいな画像が撮れるため、特に心臓の冠状動脈状態を知る検査等に有用であろうと思われます。また陰影の性質をある程度知ることでも、これからの診療の力強い味方になると考えられます。

2018年も何が起こるかわかりませんが病院スタッフ全員が地域の皆様の生命、健康を守るため全力で頑張るつもりですので、今後とも、ご支援、ご協力をよろしくお願い致します。

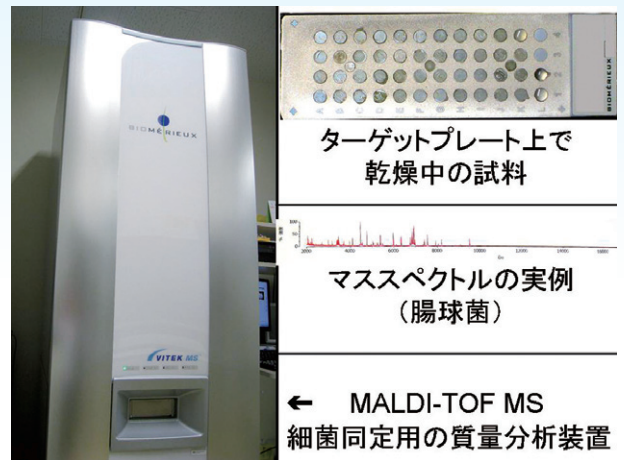
シリーズ各科紹介

臨床検査科 科長 中西 護

臨床検査科の職員構成は、医師1名、臨床検査技師34名、看護師6名、技術・事務員2名です。検体検査系（血液・尿などの検査）に26名、生体検査系（心電図、呼吸機能、脳波、各種エコーなど）に16名、受付に2名が携わっています。仕事の質の向上に取り組み、迅速正確な検査と患者サービスの向上を目標とし、各種の公的な精度管理プログラムに参加してチェックを受けています。臨床検査技師は、医師、看護師などいろいろな職種と連携をとりながらチーム医療の一端を担っており、ICTやNST、糖尿病指導などに参加しています。1年あたりの検査件数は、一般検査（尿ほか）47万件、生化学検査 200万件、輸血免疫検査 6万件、細菌検査 3万件、生理検査 3万件、エコー検査 1万件です。また、心臓カテーテル検査にも待機対応を行っています。

また、緊急検査は、宿直1名、日直2名の技師が24時間体制で対応していますが、当院での取り組みは1972年から始まっており、中四国の病院では当院が最初です。現在の実施項目は、血液ガス分析、生化学検査 24項目、血液検査（血液、凝固5項目）、尿検査、輸血検査、心電図、細菌検査などです。

多数の最新自動分析装置や画像診断装置を導入していますが、紙面の関係でその一つを紹介しましょう。2016年11月、細菌検査室に質量分析計（マトリックス支援レーザー脱離イオン化飛行時間型質量分析計、MALDI-TOF MS）が導入されました（愛媛県内の病院では3番目です）。この機械は、数日かかっていた細菌の同定（菌の名前を決定すること）が10分足らずで終わる優れたものです。敗血症や肺炎の起因菌も短時間で同定され、有効な治療薬を迅速に決定できるようになりました。また、同定の前段階には細菌培養が必要ですが、検査科全体の協力を得て、休日に提出された細菌検体の培養操作を日直者が行うように変更しました。休日・夜間検体も早く臨床に結果を返せるよう努めています。これからもよろしくお祈りします！



市立宇和島病院 イベント情報

当院では、地域に根差した活動の一環として、各種イベントを開催（参加）しています。10月の健康フェスティバルでは、台風にもかかわらず、たくさんの方にご来場いただきました。



〈7月23日 うわじま牛鬼まつり参加〉



〈8月7日 和琴コンサート〉



〈10月22日 健康フェスティバル〉

～平成29年度 イベント一覧～

- 7月22～24日 …… うわじま牛鬼まつり参加
- 8月7日 …… 和琴コンサート
- 8月25日 …… 夕涼みコンサート
- 9月2～3日 …… リレー・フォー・ライフえひめ
- 9月23日 …… 歌で心と身体をリフレッシュ
- 10月22日 …… 健康フェスティバル
- 11月14日 …… ブルーライトアップうわじま
- 12月8日～1月16日… イルミネーション点灯
- 3月10日 …… 難病啓発講演会&コンサート

難病啓発講演会 & コンサートのお知らせ

3月10日(土)13時～15時まで、きさいや広場市民ギャラリーで開催いたします。当院医師の講演に引き続き、アンサンブルさくらさんによるコンサートもありますので、ぜひお越しください。

へき地医療貢献者表彰を受けて

市立宇和島病院副院長兼整形外科主任科長兼
リハビリテーション科科長

鶴岡 裕昭

この度は全国自治体病院協議会から、へき地医療貢献者表彰を受けたのでご報告申し上げます。当院に26年間勤務したことの評価と思っておりますが、今日まで診療を続けられたのは病院職員の協力、支援のおかげです。改めてお礼を申し上げます。

【地域医療と専門性】

私は昭和57年愛媛大学医学部を卒業し、市立宇和島病院整形外科へ平成3年に赴任しました。愛媛大学では生体材料の研究や人工関節手術を主に担当していたので、市立宇和島病院に赴任した際は「人工関節が専門の鶴岡です。」などと自己紹介していました。しかし、当院では高齢者の患者が多く人工関節手術だけではやっていけない状況はすぐに悟りました。高齢者の外傷が多く、救急医療も行っていただけで結構忙しかったことを憶えています。当時の手術症例は年間400件（骨折200件、人工関節50件、脊椎手術50件、その他100件）程度でした。

私は専門性に偏らず脊椎手術、人工関節手術など全般的に取り組んできました。これは研修時代に指導者に恵まれたおかげだと思っています。必要に応じて対応してきたのが率直なところ。言い換えれば患者さんに育てていただいたと思っています。私見ですが、高齢者特有の疾患として人工関節手術と脊椎手術に対応できれば、地域の整形外科の90%の医療をカバーできます。今後はより専門性をもった医師が育ってきますので常勤医師の少ない地域においてどのように医療を提供していくかが課題でしょう。

【地域医療ネットワーク】

医療資源の乏しい地域において地域医療ネットワークの構築が勧められています。当院では2015年5月から「きさいやネット」が開始されていますが、全国での成功例として紹介されているようです。院内の電子カルテ系、インターネット系を担当していたので、地域医療ネットワークシステム運営委員会を立ち上げて梶原院長の病院理念のひとつ「病診連携の強化」に取り組んできました。「きさいやネット」により病診連携、病病連携が強化され、今後、地域包括ケアシステムに対応する連携体制が構築されていくでしょう。

今回の表彰は率直に言って私には過大な評価だと思っています。浮かれず足元を見て粛々と診療を続けていく所存です。今後ともよろしく願いいたします。



鶴岡副院長 岡原市長

シリーズ看護部だより

化学療法室 化学療法看護認定看護師 竹内 幸美

「がん化学療法」は、がんの治療・延命・症状緩和・QOL(クオリティ・オブ・ライフ:生活の質)の改善などを目的として行われます。長期に渡る治療となる事が多く、患者さまは薬剤による副作用の経験、治療費等の経済的な問題、仕事や日常生活への影響など様々な問題や不安を抱えています。

リクライニングシート5床、ベッド4床(計9床)を有する当院の化学療法室で、私はスタッフとともに薬剤の投与管理、副作用対策などのケアの他、入院から外来治療へ移る患者さまへのオリエンテーション、ポート自己抜針指導、患者相談や面談、治療中の方からの電話相談などを行い、患者さまが少しでも安心・安楽に治療が継続できるような支援を心がけて日々取り組んでいます。また、スタッフへの指導や教育を行い、入院・外来を問わず、「安全・確実・安楽」ながん化学療法看護が提供できるよう努めています。

患者さまへのケアや相談・面談依頼など可能な限り対応していきたいと思っておりますので、お気軽にお声かけ下さい。

このようにお薬手帳は我々薬剤師が想定していた以上に活用範囲が広がっています。お薬手帳を持っていない患者さんは是非お薬手帳を作ってみてはいかがでしょうか？(薬局)

また、入院の時には飲んでる薬を医師や薬剤師が確認することができません。東日本大震災の際には、病状が安定している時に限って、お薬手帳で飲んでいる薬が確認できた場合、医師の診察を受けなくても飲んでる薬をもらうことができました。すなわち、一時的にお薬手帳が処方せんの代わりになつたということ。最近ではスマートフォンでも使えるお薬手帳も登場してきました。

このお薬手帳には、患者さんが今飲んでる薬や過去飲んでた薬の記録、薬歴が書いてあります。薬剤師は病院で処方された薬とお薬手帳に書いてある薬が変わっていないか、患者さんの病状を確認することができます。

お薬手帳、おもちですか？
当院で退院の時や院外調剤薬局、他の病院でもらったお薬手帳はお持ちですか？お薬手帳は診察や入院の時、院外調剤薬局で薬をもらう時に大変重要な意味を持っています。

薬(やく)の立つ話



256列全身用X線CT装置を導入しました 放射線科 技師長 兵頭 忠徳

当院では、導入後14年を経過した16列全身用X線CT装置の更新を行い、11月22日より運用を開始しました。今回導入された装置は、GEヘルスケア社製（RevolutionCT）で、国内では慶應義塾大学病院、広島大学病院等に導入されており、県内では県立新居浜病院、県立今治病院に次いで、3台目となります。従来の16列CTと比較し、256列での撮影となり、より鮮明な画像を提供することができます。脳出血、梗塞等の頭部疾患から胸部、腹部の疾患、心臓や血管の循環器疾患、上肢下肢などの整形疾患など広範囲での運用を予定しています。

また、撮影時間の高速化、従来より低線量でも高画質の画像を取得できるソフトウェアの導入、さらに架台開口径が80cmと広くなった事により圧迫感も少なく患者さまの負担軽減につながるものと考えております。

当院でのCT検査は年間約22,000件程度行われており、今回の更新により今まで以上に高精度の画像を提供できると考えています。検査には、専門の知識を有するX線CT認定放射線技師が検査にあたりますので安心して検査を受けてください。

なお、詳しい検査内容は、担当医師、放射線技師へお気軽にお尋ねください。



256列全身用X線CT装置



操作室から

お正月太り解消！ヘルシーレシピ

味噌が隠し味！ヘルシー豆腐グラタン

マカロニの代わりに豆腐を使っているので、カロリーダウンができます。また、魚、豆腐、野菜を同時に摂ることができ、ホワイトソースを作る手間も省けるので、簡単に作ることができます。

【1人分の栄養量】

エネルギー：230kcal たんぱく質：17.9g 塩分：1.2g



〈材料 1人分〉

- 豆腐……………40g
- 鮭……………35g
- ブロッコリー……………30g
- 人参……………30g
- しめじ……………20g
- 油……………2g
- 小麦粉……………8g
- 牛乳……………25g
- 濃口醤油……………3g
- 白味噌……………3g
- みりん……………2g
- ピザミックスチーズ…15g

- ① 木綿豆腐は軽く重しをして水気を切り、1cm程度の厚さに切る。
- ② 鮭は骨を取り除き、一口大に切る。
- ③ 人参はいちょう切りにし、しめじは石づきをとりほぐしておく。
- ④ ブロッコリーは一口大の大きさに切り、下茹でする。
- ⑤ フライパンで油を熱し、人参、しめじを炒める。しんなりするまで炒めたら、ブロッコリーを加え、弱火にして小麦粉を加えて全体になじませ、牛乳を少しずつ加えながら混ぜる。
- ⑥ ⑤に濃口醤油、白味噌、みりんを加えて、とろみがつくまで炒める。
- ⑦ お皿に木綿豆腐と鮭、⑥を入れ、チーズを散らして200℃のオーブンで10分程焦げ目がつくまで焼く。

平成30年2・3月糖尿病教室予定表

日程	演 題	担当医師	医療スタッフの講義	担当部署
2月 2日(金)	糖尿病のことを知ろう	研修医の先生	見直してみませんか？あなたの検査値	臨床検査科
2月 9日(金)	知ってほしい動脈硬化の検査	久保田典夫臨床検査技師	糖尿病に薬(ヤク)だつ話	薬 局
2月16日(金)	糖尿病第6の合併症：歯周病	歯科口腔外科西川雄哉先生	糖尿病食は健康食	食 養 科
3月 2日(金)	糖尿病の最近の話題	内科宮内省蔵先生	合併症が出てしまった時の食事	食 養 科
3月 9日(金)	糖尿病を治療しよう	研修医の先生	共に学ぼう、糖尿病	看 護 部
3月16日(金)	自分の糖尿病を把握しよう	内科宮崎万純先生	お散歩から始めましょう	リハビリ

■時間：午後2時から3時まで

■場所：北棟(2階) 講堂

※日程、講義内容は変更になることもあります。

※血糖値測定(無料)は毎回行います。(午後1時30分頃から午後2時まで)

▼詳しくは、食養科までお問い合わせください。

問い合わせ先 **0895-25-1111(内線20010)**
市立宇和島病院 食養科

【糖尿病患者会(パール会)】

開催時間：午後1時35分から1時50分まで

2月16日の担当：薬局

3月16日の担当：リハビリテーション科

※糖尿病療養指導士のスタッフが担当いたします。

発行/市立宇和島病院広報委員会
住所/〒798-8510 宇和島市御殿町1-1
TEL/0895-25-1111 FAX/0895-25-5334